

はばたき

No.141

2020. August



特集1
遠隔授業をスタート！

特集2
静岡県立大学SDGs宣言から始まる取り組み



CONTENTS

p01 遠隔授業をスタート！

p05 静岡県立大学SDGs宣言から始まる取り組み

p07 CAMPUS TOPICS

- ・就職内定率 2年連続99%以上に
- ・2019年度新卒者国家資格試験合格者状況
- ・ツーリズム研究センターの開設
- ・はばたき賞の授与
- ・「K-commu」の始動
- ・学生ボランティアセンターの設立
- ・羽衣つたえ隊が能「羽衣」普及活動のためのウェブサイト開設
- ・留学生と本学学生が県内企業を訪問するスタディツアーを開催
- ・「第1回内西いよ子奨学金授与式」の開催
- ・Food Labo X Conche オリジナルチョコレートケーキ共同開発
- ・THE世界大学ランキング日本版2020
- ・キャリア支援センターの活動
- ・コミュニティフェローの称号授与および特別表彰

p13 研究室訪問

- ・経営情報学部 藤本ゼミ 藤本健太郎教授

p15 活躍する卒業生 短期大学部

活躍する在学生 薬学部

p16 産学民官連携

p17 図書館だより

- ・電子ジャーナルをもっと活用しよう
- ／私の一冊の本

p18 Information

- ・教員・学生の受賞
- ・教員人事



Zoomを活用しての表紙撮影

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は、日本において地域を対象に出された緊急事態宣言が4月16日に全国に拡大し、野も含めた我々の日常生活から社会全般まで多大な影響を及ぼ

本学では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入学業の開始延期、入構制限などの対応をとるなかで、授業について活用した遠隔授業をスタートする方針を決定し、緊急事態宣言指針のもと遠隔授業の積極的な実施を推奨しています。

そこで、本号では本学において、遠隔授業がどのように行われ、や教員のインタビューを含めて紹介します。



も4月7日に一部
れるなど、教育分
しています。

式中止や前期授
てはオンラインを
解除後も本学活動

れているか、学生

遠隔授業とは

文部科学省の『遠隔教育システム活用ガイドブック』では、遠隔授業を「遠隔教育システムを利用して、離れた学校や講師などをつないで行う授業のこと」と示しています。主に「同時双方向型」と「オンデマンド型」に大別されます。

・同時双方向型

同時双方向型の授業とは、テレビ会議サービスなどのシステムを用いて、インターネットを介してリアルタイムの授業の映像と音声を生中継したものを見る方法です。学生と教員の間の会話や質問もでき、実際の授業に近い形式で行います。

・オンデマンド型

オンデマンド授業とは、教員がインターネット上で資料や講義ビデオを配信するなどして授業を行うもので、学生は好きな時間にインターネットにアクセスして映像や音声を再生します。また、教材の提供だけでなく、学生に課題を提出させたり、学生からの質問に対し回答も行います。

で変わる教育スタイル
業をスタート！

「医療系・生物系薬学実習」

黒川 洵子・薬学部教授

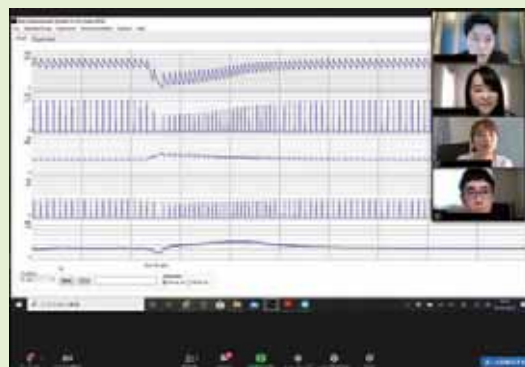
Zoomを使用した同時双方向型

受講人数：121名（5-6人ずつにグループ分け）

授業概要：本授業では、薬が病気を治す効果（作用）や、服用時の期待していない効果（副作用）をどのように示すかについて、科学的に解析する方法を学ぶ。実習では、血圧、神経、腸管に作用する薬物の作用を計測し、コンピューターを用いてデータを解析する。

教員から：薬を投与した時の生体の反応を見ることができる実験用ソフトを使用して、通常は対面で行う実習をオンラインによるバーチャルで行っています。この分野に関して、バーチャルで実験を行うことは実験動物の削減にもつながるため、倫理的な観点からソフトの開発が進められていました。対面だと大人数で1匹しか実験動物を確保できませんが、同ソフトを活用することで学生一人一人が実験をできるうえに、わからないところは何度も繰り返し実験ができるという利点があります。

しかしバーチャルですと実際に行う実験のリアリティには適わない点もあるので、私が解剖を行った動画を見せるなどにより対応しています。また、学生たちは英語のソフトを一人で操作することは難しいので、分からないところは学生指導員が教えるなど、先輩学生にも協力を得て、よい雰囲気で行えるように努めています。



薬学部

経営情報学部

「演習（ゼミナール）」

岩崎 邦彦・経営情報学部教授



Zoomを使用した同時双方向型

受講人数：16名

授業概要：社会のマーケティング事象から具体的テーマを設定し、そのテーマに関する課題の抽出、仮説の構築と検証、問題の解明と考察といった一連の研究活動を行う。研究成果は地域に発信する。

教員から：「メンバー全員が主役」をキーワードに、Zoomを利用して、双方向・参加型の演習を実施しています。文献研究やマーケティングに関するトピックに関して毎回、「ディスカッション」と「プレゼンテーション」を実施しています。

ディスカッションは、Zoomのブレイクアウト機能を使用して4人ごとのチームに分けて行っており、プレゼンテーションは、理論だけでなく、いかに現実のマーケティングに生かすかを重視しており、発表者は、Zoomのファイル共有機能を利用して、口頭と資料で説明しています。

遠隔授業では、マーケティングでのSNS活用などについて例年より詳しく考えることができました。今回の経験から学んだ遠隔授業の利点と欠点の両方を踏まえて、新型コロナウイルス終息後も、遠隔授業の良い点を積極的に取り入れていくつもりです。

受講した学生の声は？

遠隔授業で良かった点は？

- ・パソコンで講義のスライドが見やすいことや、先生の声だけが聞こえるので授業に集中でき、理解度が高いと感じました。
- ・通学時間が短縮されるのでその分の時間を自由に効率良く使うことができました。
- ・対面授業よりも質問への抵抗が軽減され、周りの声が聞こえないので、ディスカッションへの集中が高まりました。
- ・オンデマンドでは先生の説明が早い場合でも、繰り返し聞けたり動画を一時停止することができるため、講義内容をしっかり理解することができました。

遠隔授業で悪かった点は？

- ・Wi-Fi環境が悪いとパソコンが落ちたり、音が途切れたりして支障をきたすことなどがあり、不便に感じました。
- ・多くの授業で課題が出るため、課題の量が対面授業より増え、毎日増えていく課題をこなすことが大変でした。
- ・外出する機会を失ったため運動不足になりがちでした。
- ・講義が連続してあると、パソコンやタブレットの画面を見続けることが辛かったです。
- ・遠隔授業で開講されたゼミでは音声と動画の両方をONにしなければならなかったため、実家で静かな部屋の確保などに苦労しました。

こんな声も…！

静岡から350kmほど離れた地元で就活をしていました。遠隔授業が開講されたからこそ一度も静岡と地元を往来せずに、就活と学業を両立することができました。結果的に、一度も講義を欠席することなく、第一志望の会社から内定をいただくことができました。

「給食経営管理実習」

市川陽子・食品栄養科学部教授



Zoomを使用した同時双方向型

受講人数：26名

授業概要：学生自らが学内の給食施設において、食数150の集団を対象に栄養・食事管理、生産管理、衛生管理、経営管理等の実務を行い、管理栄養士に必要な給食の運営・経営に関する知識と技術、課題解決力を習得する。

教員から：通常は、学生主体でグループワークを重ね、事前準備と実際の調理・提供を通して給食のマネジメントを学ぶ実習ですが、対面授業が始まる前に、必要な帳票類（献立、作業指示書、作業工程表、食材日計表、発注書）の作成を実習の流れに沿って演習方式で行っています。モデル献立を提示して課題を与え、作業指示や作業工程の組立て方を双方向で確認しながら、丁寧に教えることができました。

国際関係学部

「国語科教育法 A」

細川光洋・国際関係学部教授

Zoomを使用した同時双方向型

受講人数：3名

授業概要：国語科教員を志望する3年生を対象とした授業で、国語科教育に必要な知見や技術（発問の仕方、板書の書き方、学習指導案の作成）などを学ぶ。

教員から：4年次に実施する教育実習に向けて、Zoomを使った同時双方向型のきめ細かい指導を行っています。ホワイトボードなどを使いながら、より実際に近い形の授業をZoom上で行うよう心がけています。基本的な進め方としては、学生が提出した課題や授業案をもとに、フィードバックをした後、具体例を示しながら解説に入ります。

模擬授業の演習では号令をかけて始めるなど、各自が「教室」にいるという意識を持って授業に臨めるように工夫しています。



食品栄養科学部

看護学部

「公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業チーム）」

畑中純子・看護学部教授

Teamsを使用した同時双方向型/オンデマンド型

受講人数：12人

授業概要：看護学部の4年生を対象として2週間の実習を行う。産業チームは企業に出向いて、働く人の健康課題の把握及び改善への支援を行う。

教員から：現在は企業に出向けないためTeamsで1週間の演習を行い、後期に企業で1週間の実習を行う予定です。今日は3チームに分かれて実習先の企業から指定された健康教育のテーマに従い健康だよりを作成しています。途中、作成している健康だよりについて全員でディスカッションを行います。健康だよりは後期に企業の実習担当者からも指導を受けます。オンラインではチームごとの検討過程が見えないため



随時質問等を受け、時間を決めてTeamsで集合します。また、日々の提出物管理を含めて細かいスケジュールを立てることで、参集しての演習と同等の効果を得られるようにしています。

遠隔授業の今後～湯瀬裕昭 ICT イノベーション研究センター長に聞く～

遠隔授業は通常の対面授業よりも事前準備と後の対応に労力がかかる場合が多いと感じます。4月当初は、遠隔授業の準備のため多くの教員が苦労しましたが、遠隔授業開始前に自主的な研修会や緊急FD講演会が開催され、実際に遠隔授業を行いながら教員も少しずつ慣れていきました。大学もモバイルWi-Fiルーターの貸し出しなど環境面のサポートを行い、大きな問題もなく遠隔授業を実施することができました。中には事前に教材動画を視聴し、同時双方向型の授業で学生間のディスカッションを行うことなどにより、対面授業よりも学習効果を高めた遠隔授業もありました。

実は本学の遠隔授業はこれが初めてではなく、静岡県が県内各市に設置した遠隔講義システムを使って、2003年から大学院ビジネス講座を開催したり、大学院経営情報学研究所（現：経営情報イノベーション研究科）において、沼津エクステンションセンター（現存していない）と草薙キャンパスをビデオ会議システムで結んで、社会人院生が沼津から一部

の大学院授業に参加していました。また、2018年からは、COIL（Collaborative Online International Learning）事業で国内外の大学とも遠隔授業を開始するなど、新型コロナウイルス感染症拡大前から遠隔授業は行われていましたが、同感染症拡大防止のため大々的に遠隔授業を行うようになり、遠隔授業に必要な授業方法のノウハウや教材などが多数蓄積されることになりました。そのため、新型コロナウイルス終息後も、ゼミや授業の一部が遠隔講義として行われると思われます。また、対面授業においても今回培ったオンデマンド型の遠隔授業の技術や方法を活かすことでアクティブラーニングを積極的に行うことができると考えます。今回得た経験とノウハウは、今後の大学での講義の幅を広め、質を高めるために寄与することと思われます。



静岡県立大学SDGs宣言から始まる取り組み



対談企画

学長

鬼頭 宏



国際関係学部教授

湖中真哉



本学では2019年11月28日に『静岡県立大学SDGs宣言』を行い、「地域をつくる」、「地域をむすぶ」、「未来へつなぐ」ことを使命として、全学的な取り組みを進めています。

その推進役を担う「静岡県立大学 SDGsイニシアティブ 運営委員会、推進委員会」が2020年4月に発足しました。本号ではSDGsの取り組みに注力する鬼頭宏学長と同委員会委員長の湖中真哉・国際関係学部教授の対談により、本学がSDGsに取り組む意義等をお届けします。(対談日:2020年6月1日)

1. 今なぜSDGsが大切なのか？

鬼頭 私は、人口の歴史的研究をしており、現在を長い歴史の中でみる習慣がついています。こうした観点からすると、少子化や地球温暖化など現代が抱える様々な問題は一見無関係であるようで、実は密接に結びついていると感じているところです。そうした絡み合った問題の根本的な解決策としてSDGsにはかなり期待しています。国際関係学部で湖中先生を中心にSDGsイニシアティブが立ち上がった時は大変嬉しく、ぜひこれを一学部のみではなく、全学的な活動にしていきたいと考えました。

湖中 私は、現代社会が大きな漠然とした不安を抱えていることを感じています。昔は宗教が人々の心のよりどころとなりましたが、今は何を目的に生きるのかが明確でない時代です。SDGsはそのような人々に向かうべき場所を明確に示してくれる、ひとつのゴールなのではないかと思います。

鬼頭 SDGsはまだ理解が浸透しているとは言えませんが、別に新しい考えというわけではありません。私の学生時代にも、SDGsにつながる動きが多くありました。当時、公害問題など社会的に大きな問題が続出しましたが、いまはかなり解決してきています。もちろん解決した問題ばかりではないし、新たに発生した問題も多くありますが、ここ50年ほどで考えるとやっとゴールが見えてきて、そういう意味では、よい道のりをたどってきたと言えるのではないのでしょうか。

湖中 SDGsは人と環境のバランスを考えて、双方にやさしく、危機に強い助けあいの社会をつくるための考え方です。国連で全会一致で採択され、それぞれ細かい思いは違



CONTENTS① SDGsとは

2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



えども、全世界で一つのゴールを見据えることができた瞬間だと思います。人類の歴史の中でも大きな出来事なのではないかと考えています。

2. 本学の取り組み

湖中 そもそもSDGsを慈善事業のように理解している人が多いですが、そうではなく、それぞれの組織の中核にあるべきものだと考えています。本学では昨年11月に鬼頭学長がSDGs宣言を出されましたが、SDGsを組織の中核において、社会に対して果たしていくべきミッションと本学のミッションがうまく一致するように行動することを理想の姿としています。



鬼頭 ゆとりのある人が本業から離れて行えばいいという話ではないですね。決して日常の活動から離れたものではなく、日常を通じて取り組むべきものだと思います。

湖中 そういう意味で本学のSDGsの取り組みは正攻法だといえると思います。自分たちが持っているリソースを見つめ直して確実に実行していくことが、本学の取り組みの特徴です。まずSDGs宣言を出し、窓口を開設した後、教員にアンケートを実施するなど着実に進めています。

鬼頭 アンケートから、かなり多面的な展開が期待できるということが分かりましたね。これから教育の場で生かしていくために何かお考えはありますか。

湖中 本学の様々な分野の先生がSDGsについて考えておられます。例えば薬学部先生にはワクチンなどの話を聞くことができます。看護学部ではコロナ禍で問題として取り上げられるDVについて研究されている先生もいます。

このように多岐にわたる分野の先生が、多くの情報を持っていますので、一つの事態への解決策を考えることができます。オンライン連続講義企画「コロナ後のSDGs的世界」を始動しました。

本学の学生が相互扶助の活動として創設した「k-commu」(P8 参照)のサイトに、「私たちにはパワーがある」という文言があります。それは教員にもいえることで、みんなで力を出し合えば、コロナ後の世界をどう生きていくかを考える助けになるのではないかと考えました。これまで眠っていたポテンシャルが発揮されていくのではないかと楽しみにしています。

鬼頭 新型コロナウイルス対策は単なる医療の問題ではないということを強く感じています。19世紀後半から様々な薬が開発されましたが、新種の病気も次々と出てきます。技術で退治すれば良いという話ではなく、病原体も生態系のファクターの一つとして、付き合い方を考えていかなければならないと思っています。人間と自然との付き合いという視点から見ると、コロナ後の世界を考えることはSDGsと密接に結びついているのではないのでしょうか。

本学にSDGsという核を置くことにより、それぞれの学部が繋がっていることが見えてきます。さらにこれを社会にどう還元するかということを考えていきたいと思っています。いま県や市町が次々とSDGsを核として動き出しています。自治体とも協力して地域社会をよりよいものにしていきたいですね。

湖中 本学の中だけでない、地域社会とのつながりも意識していきたいと考えています。実際に国際関係学部の宮崎先生のゼミ生を中心とした富士宮市における取り組みもありました。

CONTENTS②

「気が付けば実践しているSDGs」富士宮市での学生調査

2019年度「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」ゼミ学生等地域貢献推進事業では、富士宮市の「SDGsの推進と市民啓発の方策」という課題に対し、経済学・経営学・社会人類学のゼミに所属する国際関係学部の学生が同市内の民間団体や企業を調査しました。その結果、富士宮市では自然環境教育や環境保全、リサイクル技術など以前からSDGsに関係する取り組みを続けている民間団体・企業が活躍していることがわかりました。他方で、後継者不足や無関心層への訴求、同じ思いを持つ他地域の団体・組織とのつながりづくりなど、課題を抱えていることもわかりました。これら調査結果を踏まえ、富士宮市へは民間団体・企業をつなぐ相談窓口やネットワークのハブ機能を担うことを提案しました。



3. SDGsとのかかわり方（読者へのメッセージ）

鬼頭 一番身近に関りがあるのはレジ袋の有料問題などではないでしょうか。なぜレジ袋を使うことが問題なのかといったことを考えること自体がSDGsにつながってくると思います。形のないものとしては、ジェンダーギャップを考えるにあたって、家での育児や家事の分担から見直してみることもできます。

このように日々の生活の中でSDGsにつながることは多くあります。そうしたことを一人一人が考え始めれば、その積み重ねが大きな社会の変化につながるでしょう。

湖中 SDGsのおもしろく、難しいところは、あくまでゴールであってその達成手法は決まっていないところです。それぞれが身の回りでできることを見つけてほしいと思っています。

逆に言うとなんをやったらいいかわからないという人もいるかと思いますが、そこは少し例を示していければいいと思っています。今回のオンライン連続講義では、様々な切り口からSDGsに言及しているので、ぜひご覧いただき、考える一助にしていきたいと思います。

CONTENTS③

オンライン連続講義企画「コロナ後のSDGs的世界」

新型コロナウイルス感染症の影響は、健康のみならず、経済や政治、社会関係の在り方などあらゆる側面に及んでいます。そこで、自然科学・人文社会科学の多様な専門分野から、SDGsの考え方を手がかりにして新型コロナウイルス感染症をめぐる課題について考える連続講義を、本学公式サイトに展開しています。



就職内定率 2年連続99%以上に

2020年3月卒業(修了)者の就職状況は学部・大学院あわせた就職内定率が99.0%となり、2年連続で99.0%以上となりました。学部の就職内定率は98.8%で、今年の静岡県内の就職内定率97.0%を上回る結果となりました。

2020年3月卒業者の就職状況

	薬学部	食品栄養科学部	国際関係学部	経営情報学部	看護学部	学部計	大学院	合計
就職内定率	100.0%	100.0%	96.6%	100.0%	100.0%	98.8%	100.0%	99.0%
前年度	100.0%	100.0%	98.8%	99.0%	99.2%	99.2%	100.0%	99.3%

2019年度 新卒者国家資格試験合格者状況

2019年度新卒者の国家試験の合格状況は、右表のとおりとなりました。各試験において毎年高い合格率を保持しています。国家試験対策として、質の高い授業、模擬試験の実施やその結果を踏まえた教員による個別指導等、対策の強化を進めています。

2019年度は薬剤師国家試験と管理栄養士国家試験の新卒合格率が100%となり、全国の大学別順位でいずれも一位となりました。管理栄養士国家試験新卒合格率および歯科衛生士国家試験新卒合格率は4年連続で100%を達成しました。また、2010年に大学院看護学研究科に助産師養成課程を設置以降、助産師国家試験新卒合格率は100%を継続しています。

国家試験の名称	受験者	受験者数(名)	合格率(%)
薬剤師	薬学部 薬学科(6年)	本学 81	100.0
		全国平均 9.194	84.8
管理栄養士	食品栄養科学部 栄養生命科学科	本学 26	100.0
		全国平均 9.527	92.4
看護師	看護学部 看護学科	本学 113	99.1
		全国平均 59.320	94.7
保健師	看護学部 看護学科	本学 98	95.9
		全国平均 7.318	96.3
助産師	看護学研究科 実践看護学 助産学分野	本学 6	100.0
		全国平均 2.098	99.5
歯科衛生士	短期大学部 歯科衛生学科	本学 43	100.0
		全国平均 [※] 7.216	94.3
介護福祉士	短期大学部 社会福祉学科 社会福祉専攻	本学 28	100.0
		全国平均 [※] 84.032	69.9

※歯科衛生士および介護福祉士の全国試験における新卒者の受験数は公表されていないため、全国平均は総受験者数(既卒者含む)の数値となっています。

ツーリズム研究センターの開設

2020年4月1日付けで、大学院経営情報イノベーション研究科の附属研究センターとして「ツーリズム研究センター」を新設しました。静岡県などの観光に関する調査研究などを行い、その研究成果を地域社会へ情報発信するとともに、各自治体、観光関連団体・企業等とも連携し、静岡県観光の振興および地域の経済力向上に積極的に関与することを目的としています。



ツーリズム研究センター開設を記念して

はばたき賞の授与

2020年3月10日、本学はばたき寄金から、国際関係学部4年(受賞当時)の大西祐司さんに「はばたき賞※」が授与されました。

大西さんは、2019年、国際的に著名な写真家である森山大道氏(2018年仏政府から芸術文化勲章を授与)の参画する新アート共創プロジェクト「SHIBUYA/森山大道/NEXT GEN」(ソニー・東急電鉄共催)の「次世代クリエイター」公募フォトコンテストに応募し、見事6名の入賞者(うち日本人は3名)の1名に選ばれました。コンテストの副賞として、撮り下ろした新作の展示会が渋谷MODI(2019年8月1日～9月15日)や、New York本社ビル Sony Square NYC(2019年9月17日～10月27日)で行われました。本人は卒業後に写真家として活動していきたいと考えており、今後の活躍が大いに期待されます。

受賞した大西さんは、「大学入学当時は得意なものがなく、将来の目的が明確でなかったが、留学先のデンマークでフィルムカメラを教えてもらったことがきっかけとなった。今回、はばたき賞をいただき嬉しく思う。今まで出会ったすべての方に感謝したい」と述べました。



大西さんが撮影した写真



授与式での大西さん(右から3人目)

※「はばたき賞」は、本学はばたき寄金から、教育、学術、文化、スポーツ分野等において優秀な成績を収めた者、社会奉仕活動が他の模範となった者等を対象に表彰しています。

「K-commu」の始動

新型コロナウイルス感染拡大による社会的・経済的な影響により生じた困難を、学生と教職員の協働によって乗り越えるために、2020年4月に、国際関係学部の学生有志が、本学に関わるすべての人が集い、情報交換できるポータルサイト「K-commu」を制作しました。同ポータルサイトは、入学式などの新入生歓迎イベントがないまま遠隔授業が始まり、不安を抱える新入生をサポートすることも目的としています。サイト内には、本学の公式ウェブサイトやSNSのリンク、大学公認サークルやゼミによる相談対応SNS一覧、レポートの書き方や奨学金のまとめなどの「とくとく掲示板」、キャンパスの写真集などが収められています。代表の

鈴木杏佳さん(国際関係学部4年)は「新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、私たちに動揺が押し寄せてきました。目まぐるしく流れてくる情報を一度閉じ、一度立ち止まり、半年後の私たちの大学のことを考えてみました。現在は14人の仲間

と、一人一人の学生の不安に寄り添い活動をしています。おかげで教職員の方との連携や地域でのアルバイトなど前向きな輪が広がっていると思います」と想いを語っています。



「K-commu」のトップページ

学生ボランティアセンターの設立

これまで準備室として活動してきた学生有志による「学生ボランティアセンター」が、2020年4月に正式に設立されました。学生に対しボランティアや学生生活の中でやりたいことを提供し、災害時に周りとは協力してボランティアの受け入れができるような機能を持つ機関を作ることを目的としています。メンバーは9人で、代表の国際関係学部の佐藤舞祐さんは「県大生みんなが気軽に相談したり、助け合えるような場を設けたい」という思いで活動してきました。困ったときはお互い様です。ぜひ学生ボランティアセンターに小さなことでも頼ってく

ださい。今後もしばらくの間は学生の活動に新型コロナウイルスの影響が出ると思いますが、一緒に乗り越え、またいつものように学校で皆さんと活動できることを楽しみにしています」と活動への想いを語りました。

～ボランティアセンターの活動～

①学生へのボランティア情報の提供

学生ホールにボランティアのチラシを置いたラックを常設し、年に数回ボランティア紹介フェアを開くことで、誰でも自分にあった活動を見つけられる場を作っています。

②社会貢献系団体の活動促進、中間支援
夏冬に学内外の社会貢献系団体と一緒に研修合宿を行います。

③学生の居場所づくり

ボランティアやボラセンとの活動への参加を通して、より学校が心地よく、楽しい場になるような場所づくりを目指しています。

④新型コロナウイルス関連の活動

新型コロナウイルスの影響をうけ、オンラインカフェ (online cafe) の開催、相談箱を設置するなど新入生の不安を解消できるような活動も行いました。



ボランティアセンター活動の様子（写真は準備室時）



羽衣つたえ隊が能「羽衣」普及活動のためのウェブサイト開設

2020年4月、国際関係学部の鈴木さやか講師が代表を務める学生有志団体「羽衣つたえ隊」のウェブサイトが開設されました。

「羽衣つたえ隊」は、静岡市清水区三保松原を舞台とする能「羽衣」を静岡の教育・観光・国際交流に活用するため、オリジナル絵本「羽衣」(山階彌右衛門監修、鈴木さやか文、なかおまき絵)の読み聞かせを中心とした活動を行っています。「羽衣」絵本は日本語版の他、国際関係学

部の教員等の協力のもと、英語版・中国語版・韓国語版・フランス語版・ドイツ語版・スペイン語版・イタリア語版・インドネシア語版が発行されています。

サイト内には「羽衣つたえ隊について」「絵本ご紹介」「静岡ゆかりの能」「音声で楽しむHAGOROMO」のページがあり、「音声で楽しむHAGOROMO」では、現在7ヶ国語版の音声をお楽しみいただけます。



「羽衣つたえ隊」ウェブサイトのトップページ

留学生と本学学生が県内企業を訪問するスタディツアーを開催

2020年2月12日から2月14日までの3日間、上智大学に留学中の留学生と本学の学生が県内の企業を訪問するスタディツアーを、同大学と共同で開催しました。ツアーは主に英語で行われ、留学生4人(米国、ブラジル、ドイツ)と本学学生4人が、伝統工芸から現代の製造業まで多様な産業を有する静岡県の特徴ある企業等を訪問し、静岡の経済・産業や伝統・文化について学ぶとともに、日本と海外

の学生間交流を深めました。また、ツアーに先立ち、1月31日には公益社団法人静岡県国際経済振興会から講師を招き、英語で事前学習を行いました。

本学では、2018年度から、上智大学およびお茶の水女子大学と共同で、オンライン教育(Collaborative Online International Learning: COIL)を利用した遠隔教育および交流事業を軸とした、日米2国間の大学間連携を図るプロ

ジェクトに取り組んでいます(2018年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業～COIL型教育を活用した米国等の大学間交流形成支援～」)。本スタディツアーは、その一環として2019年度に実施したもので、今年度は残念ながら、新型コロナウイルスの影響により実施できませんが、来年度以降に開催を予定しています。



スタディツアーの様子



「第1回 内西いよ子奨学金授与式」の開催

2020年2月10日、大学院薬食生命科学総合学府(薬学系)の博士後期課程および博士課程に在籍する学生を対象とした「内西いよ子奨学金」授与式を行いました。

本奨学金制度は、本学の前身である静岡女子薬学校出身の内西いよ子様(故人)の「薬学部・薬食生命科学総合学府(薬学系)のために役立ててほしい」というご遺志によりいただいた寄附金をもとに、2019年度設立したもので、薬食生命科学総合学府薬科学専攻博士後期課程及び薬学専攻博士課程の学生を対象と

した給付型の奨学金です。

第1回の授与式となった今回は、鬼頭宏学長から渡部央さんと土肥直貴さん(ともに薬学専攻博士課程1年:授与当時)に奨学金認定書が授与されるとともに、「内西いよ子様のご遺志に応えられるよう、より一層研究に励み、社会に貢献していただきたい」との激励の言葉が贈られました。授与された学生は、「病気で苦しんでいる人々のために、これからも精進していきたい」と感謝の言葉を述べました。



授与式で奨学金認定書を持つ学生

Food Labo × Conche オリジナルチョコレートケーキの共同開発

2020年4月6日、本学の学生サークル Food Laboが、食品栄養科学部 食品化学研究室の伊藤圭祐准教授の指導のもと、クラフトチョコレート専門店 Concheと共同開発したチョコレートケーキが草薙キャンパス上売店と Conche店舗にて期間限定で発売されました(現在は販売終了しています)。

本商品「Theobroma〜クマリン〜」は桜の木をイメージしたチョコレートケーキで、チョコレートケーキと上にかかったフランボワーズを練りこんだホワイトチョコレートのバランスが絶妙な仕上がりです。酸味と甘みのバランスがちょうどよく、上についている茶葉の香りがいいアクセントになっています。

Food Laboの学生からは「商品名のク

マリンは桜葉の香気成分の名前を引用して名付けました。春になって新しく入学した新生に緊張をほぐし、明日への一歩を踏み出してほしいという願いがこもっています。ぜひ新生に食べてい

ただき、Food Laboに興味を持ってもらえたら嬉しい」と込められた思いも聞かれました。

現在Food Laboは第二弾の商品開発に向けて活動中です。



商品を共同開発した学生

【THE世界大学ランキング日本版2020】

3回目のエントリーとなる「THE (Times Higher Education) 世界大学ランキング日本版2020」において、本学の総合ランキングは87位となりました。3年連続で100位内にランクインし、公立大学の中では13位、東海4県の大学の中では8位の順位でした。

本学の地域に根ざしたきめ細かな教育および研究が学内外から評価されるとともに、教育リソースや教育成果の向上への取り組みが100位以内を継続する

ことにつながりました。

この成果を踏まえ、「静岡県立大学 SDGs宣言」にもあるとおり、人材の育成を通じ、また、知の探求を通じて、地域をつくり、地域をむすび、未来をつくることをめざし、今後も教育および研究両面の充実に取り組んでいきます。

<THE世界大学ランキング日本版について>

THEは英国の世界大学ランキング最手で、株式会社ベネッセコーポレーションと業務提携し、2017年から「世界

大学ランキング日本版」を発表しています。日本版では、大学の収入・学生数・教員数などの基礎情報に加えて、論文数や高校教員・企業・研究者を対象とした評判調査などに基づきランキング化が行われます。2019年版からは実際に在籍する大学生の声「学生調査」もランキング指標に加わりました。また、「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野で、学部教育力にウエイトを置いてランキング化が行われます。

第34回 剣祭

中止

草薙キャンパス

静岡県立大学の大学祭である剣祭では例年各種ステージ企画のほか、クラブ・サークル等による模擬店・ライブ&イベントを開催してきました。しかし今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、やむをえず開催を見送ることとしました。来年の剣祭にご期待ください。

- TEL 054-264-5070(剣祭実行委員会)
- turugi@u-shizuoka-ken.ac.jp
- <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

第24回 橘花祭 11月7日(土)・8日(日)

小鹿キャンパス

短期大学部の大学祭です。例年、保育士・介護士・歯科衛生士を目指す学生による展示や、クラブ・サークル等による模擬店、橘花祭実行委員会主催のイベントなどを行っています。今年度は開催の可否も含めて検討中です。決定しましたら短期大学部ホームページでお知らせしますので詳細は同ホームページをご確認ください。

- TEL 054-202-2603(学生室)
- <https://oshika.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

キャリア支援センターの活動

今年は新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響で、採用活動もオンラインに移行する企業が増加するなど、就職活動ではイレギュラーな対応を迫られています。

キャリア支援センターではこうした状況を踏まえ、4月20日からオンラインでの就職相談を開始しました。

当初は手探り状況でスタートしたものの、キャリア支援相談員はオンラインでの相談の大きなメリットとして、「学生はわざわざ大学に来なくても相談ができ移動時間の短縮が可能となり、また、企業のオンライン面接の練習にもなる」ことを挙げました。

また、今年は企業の採用活動がオンラインで行われることが多くなることに伴い、「学生は、移動にかかるお金や時間、精神的負担がなくなり、東京などの都市部に就職したい学生にとってはメリットも大きいのではないかと述べ、悲観的にならずに就職活動に挑戦してほしいと学生へ

の思いを語りました。

新型コロナウイルスの影響で4月は就活自体が停滞していましたが、5月からは動きが見え始めています。キャリア支援センターではオンライン相談をはじめとする様々な活動をしていますので、ぜひ活用してください。



オンライン相談を受ける相談員

コミュニティフェローの称号授与および特別表彰

【コミュニティフェロー制度】

地域住民とともに「チーム活動」を牽引する「コミュニティ・ワーク力」を備えた人材の育成を推進するため、「静岡県立大学コミュニティフェロー」の称号を授与する制度を2017年度に創設しました。2019年度は147名に授与し、うち10名を特別表彰しました。

[特別表彰受賞者一覧]

受賞分野	受賞者名	所属	学年(※)	活動内容
COC 事業活動 からの 表彰	江部 綾華	薬学部	6年	地域医療向上を目指した一次救命救急教育システムの習得と活動
	杉山 純一	薬学部	6年	健康増進啓蒙活動の一環で行った健康イベントでのチューターとしての参加
	杉山 優雅	薬学部	6年	地域医療向上を目指した、高校生への防災教育の実施
	土本 明	食品栄養科学部	4年	静岡市主催「しずおかカラダにeat75事業」への参加 など
研究室 (ゼミ) 活動から の表彰	鈴木 杏佳	国際関係学部	3年	コミュニティガーデンの研究を通じた静岡市への貢献
	浅岡 航平	経営情報学部	4年	静岡市内の個店に対するコンサルティング活動
	大庭帆月季	経営情報学部	4年	静岡市地域福祉共生センター「みなくる」における事業評価 など
サークル・ ボランティア 活動から の表彰	羽場崎彩香	国際関係学部	4年	羽衣つたえ隊における羽衣伝説及び能「羽衣」の普及活動 など
	片山 奈津	看護学部	4年	静岡県立大学内・学外における防災ボランティアクラブ防' zとしての防災啓発活動
	山本真里亜	看護学部	4年	静岡市における保健センターでのボランティア活動

※学年は表彰(2020年3月末)時点



経営情報学部 藤本ゼミ 藤本 健太郎 教授

一先生が取り組まれている研究について教えてください。また、現在の研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。

最近取り組んでいる研究テーマは人口減少や社会的孤立です。もともと厚生労働省や在ドイツ日本大使館で社会保障行政に携わっていた頃から、社会保障の持続可能性が懸念される原因と

しての少子化対策に関心がありました。研究者になってから調べてみると、母親が孤立した育児を強いられるケースが多いことを知り、高齢者の孤独死の問題などとあわせて社会的孤立を研究しました。また、少子化が長期化した結果、人口減少が避けられなくなっています。都市部では待機児童対策が重要ですが、児童数の減少によって保育所や幼稚園の閉所が相次ぐ地方

での対策はあまり考慮されていないと思ったので、主として地方の視点による人口減少対策を研究テーマにしました。このほか、ドイツと日本の社会保障政策の比較研究も行っています。

一先生の研究が、これからの社会に果たす役割についてお聞かせください。

いざというときに頼れる人がいない社会的孤立を防ぐことは、安心して老後を送るために重要だと思っています。特に、医療や介護が入所ケア中心から在宅ケア中心に転換しつつあり、ハンディキャップのある高齢者が地域で暮らすことが増えますので、地域包括ケアをうまく機能させるためにも社会的孤立対策は必要だと思っています。

また、静岡は人口の社会減が大きいことで知られていますが、生産年齢人口の急減は地域経済に悪影響を及ぼしますし、このままでは子どもがいなく



2019年度のゼミ活動の様子

なる地域が増えてしまい、地域の活力が失われることが危惧されます。子どもを生み育てやすい社会に変えていくことは、最も重要な政策課題ではないかと考えています。

一研究をしているなかで、学生の成長を感じるのはどのような時ですか。

ゼミでは毎週グループディスカッ

ションをしています。最初は自分の意見を話すことに慣れていなくても、だんだん上手く意見を言えるようになり、4年生になり3年生を引っ張って議論する姿を見ると、ゼミ生の成長を感じます。

また、毎年、静岡大学の社会保障関連ゼミと合同ゼミを行っています。合同ゼミでの研究発表の準備はゼミ生に任せています。自分たちで発表内容を作り上げることで成長してくれているように感じます。



2019年度ゼミでのディスカッションの様子

STUDENT VOICE

経営情報学部 4年
雨澤 洸武さん



一ご自身から見て感じる、藤本ゼミの魅力や、他のゼミにはない特徴についてお聞かせください。

藤本ゼミの魅力はディスカッション能力が上がることだと思います。藤本ゼミでは毎回のゼミで議題について少人数でディスカッションをするので、ディスカッション

能力の向上が期待できます。特徴としては、社会保障関連の時事的なことについて扱い、これからの日本について考えていくことだと思います。

一ご自身が行われている研究テーマについてお聞かせください。

私たちの学年は介護制度について、国際的な視点で比較をしました。また、私は卒業論文では日本及び静岡の介護事情について研究していきたいと考えています。

介護施設や地域包括支援センターにフィールドワークとしてインタビューをしたいと考えています。

一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。

私は静岡の福祉関連の企業に内定をいただきました。将来的には静岡の地域をより快適にできるよう、また、活性化できるような社会人になりたいと考えています。

経営情報学部
研究院4年
森田 まりなさん



一ご自身から見て感じる、藤本ゼミの魅力や、他のゼミにはない特徴についてお聞かせください。

藤本ゼミの特徴は、ディスカッション中心のゼミであることです。ゼミでは毎週医療や介護、年金をはじめとした様々な社会保障政策についてグループディスカッションを行っています。グループディスカッションを通じて、自分の意見を相手にわかりやすく伝えるコミュニケーション力を養うとともに、自分とは異なった視点からの考えや価値観に触れることでよりテーマについて理解を深めることができます。

一ご自身が行われている研究テーマについてお聞かせください。

静岡大学との合同ゼミの際にはドイツと

日本の介護保険制度の違いについて研究しました。ドイツでは日本と同じ社会保険方式によって介護サービスを保障しています。しかし、現金給付が受けられる点や家族による在宅介護を仕事と認めている点などドイツ独自の特徴もあります。これから高齢化が進み、在宅介護を推進する日本にとって、ドイツの介護保険制度から学ぶことがありと考える、これからも研究を進めていきたいと考えています。

一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。

将来は経営情報学部で得た知識や経験、そしてゼミでのグループディスカッションで培った話す力聞く力を活かした仕事をしたいと考えています。また、これまでゼミで勉強してきた社会保障という分野は、社会に出た際にこれまで以上に生活に結びついてくるものだと思うので、卒業後も様々な社会保障政策に対して常に自分の考えを持ち続け、学んできたことを自分の生活に活かしていきたいと考えています。



ふじもと けんたろう
藤本 健太郎 教授

1967年生まれ。東京大学経済学部経済学科卒業後、厚生省に入省。1999年に外務省に出向し、在ドイツ大使館にて一等書記官に就任する。帰国後は内閣官房に転じ、小泉政権下で特殊法人改革を担当した。2004年からは学究活動に身を転じ、大分大学教育福祉科学部准教授を経て2008年より経営情報学部准教授として本学に奉職。専門は社会保障政策論。主な業績として「人口減少を乗り越える（法律文化社）」、「孤立社会からつながる社会へ（ミネルヴァ書房）」などがある。

藤本ゼミ 学生 13 名

<http://ai.u-shizuoka-ken.ac.jp/user/fujimoto/>

活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



お名前 小沼 克典さん

卒業
学部 静岡県立大学短期大学部社会福祉学科介護福祉専攻
(2003年 3月卒業)

勤務先 医療法人志太会
介護老人保健施設ユニケア岡部

Q1. 現在の仕事について教えてください。

介護老人保健施設の副施設長として、主に施設運営に携わっています。学校卒業と同時に介護福祉士を取得し、介護職員・相談員を経て、現場で培った経験を活かし、職員と利用者様にとって、安全で安心できる施設環境を整える仕事をしています。

また、静岡県介護福祉士会に所属し、介護福祉士の資質の向上、知識・技術の普及等に努め、介護の仕事が将来の学生にとって、憧れの仕事になることを目指してがんばっています。

Q2. 大学生活（ゼミやサークル）で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。

介護福祉専攻の授業では、実際に現場で活用される機材や、設備等が豊富に準備されていたため、実戦さながらの授業が多く経験できた事が、強く印象に残っています。そのため、介護実習に赴いても、授業で学んだ内容が現場で確認でき、実践し、評価され、実習を何度も経る事で、自分の力になる事が実感できました。就職後、それらの経験が今の自分にとって、どれだけ大きなものであったか、語りつくせないほどのです。

Q3. 静岡県立大学短期大学部に入学してよかったことを教えてください。

正直なところ、本学に入学した一番の決め手が学費です。親に負担をかけたくないとの思いでの入学でした。奨学金も活用し、自分自身も負担なく安心して学び、卒業をする事ができ良かったです。また、私が入学した学科は「卒業後は介護の施設で働きたい」と思う学生が多く在籍していたため、普段の授業等でも同じ方向を向いて学び、悩みを相談する事ができ、卒業後も親交が続き恵まれた環境でした。

Q4. 今後の目標について教えてください。

私は仕事の定年を迎えるまで、介護の魅力と奥深さを発信する事ができる人間でありたいと思います。介護の仕事は、確かに世間から大変な仕事で、責任感を要する仕事と言われます。しかしその反面、利用される方の生活や人生の一端に触れる事で、介護はやりがいを見出せる仕事であり、自分が成長し続ける事ができる仕事でもあります。少しでも、多くの学生や介護を目指す人に、その魅力を伝える事ができればと思います。

Q5. 在学生にメッセージをお願いします。

大学を卒業してから 15 年以上が経過しました。しかし、未だに近くを通ると、ふと赴きたくなる場所です。それぐらい、大学生活は充実した出来事が多かったです。勉強でも余暇活動でも構いません。多くの事にチャレンジし、人との出会いを大切に、限られた大学生活を送ってもらえればと思います。嬉しい事も、悲しい事も、必ず多くを経験します。学生の経験は、その後の人生に何かしらの形で活かされるので、大切に歩んでください。

New!

活躍する在学生

The current student who plays an active part

新しい連載として「活躍する在学生」をスタートします。

栄える第 1 回は 2019 年 6 月に第 68 期静岡県アマチュア将棋名人戦で初優勝を遂げた薬学部 3 年の山岸亮平さんです。



お名前 山岸 亮平さん

在籍
学部 薬学部薬科学科 3 年
(2017 年入学)

Q1. 現在、どの分野で活躍をされているか、また、その分野の一番の魅力は何かお聞かせください。

趣味で将棋を指しており、現在四段です。数年前までは棋士を目指していましたが、断念して、本学へ入学することに決めました。現在は全国大会に絡むような大きな大会に出て、何度か全国大会へ行くことができました。また、個人や高校に将棋の指導を行ったりもしています。将棋は性別や年齢関係なくどんな人でも楽しめるため、様々な人と出会うことができます。個性豊かな人たちと盤上で対話することはとても楽しいです。

Q2. 本学に入学しようと思ったきっかけを教えてください。

理系にしようとは思っていましたが、こういった分野に進むかは漠然としていました。急な進路転換でしたので、短い時間の中で勉強しながら進路に悩む日々で、なんとなく医療系の研究者という道が魅力的に感じていた、というのが正直なところです。本学は、先生方の学生に対するサポートが手厚く、勉強する環境が整っていると評判だったので、自分がどの分野を専攻していきたいかをじっくり見極めるのに適していると感じました。

Q3. 大学生活と将棋はどのように両立されていますか。

将棋は基本、大会前にならず程度で、それ以外是对局中継を見たり、指導の際に指したりする程度です。部活動は卓球部に所属しています。こちらから薬学部の大会など大きなイベントがいくつかあり、それに向けて練習しています。今年は新型コロナウイルスの影響でイベントがほとんど中止になっていてとても残念です。

大学の勉強がメインですので、毎日ある程度の計画を立てて、この時間だけは勉強する、この時間は将棋に集中するなど、メリハリをつけるようにしています。

Q4. 将棋をやっている苦勞したこと、そこから学んだことなどあれば教えてください。

勉強方法とモチベーションの維持が、最も苦勞したところでした。将棋は人によってトレーニング方法が違い、これといった勉強法が存在しないため、どう勉強すれば自分が強くなれるのか、手探りで行う日々でした。また、レベルが上がっていくにつれて簡単には勝てなくなっていき、そこでモチベーションを維持することも非常に大変でした。そういった試行錯誤していたときの経験が、大学受験ではとても生きたと思います。

Q5. 今後の目標や課題、将来の夢について教えてください。

1 つ目の目標はアマチュアの大会で全国優勝することです。全国優勝することで棋士との公式戦の場もいただけるのも大きいです。

2 つ目は静岡県立大学に将棋サークルを作ってちゃんと活動することです。やりたいという人は結構いるみたいで、こちらは近々達成できるのではないかと思います。みんなで大学の大会で団体戦とかできたら、楽しそうです。

3 つ目は、目標の研究室に入ることです。そのためにも、勉強の時間もしっかりとっていきたいと思っています。



産学民官連携

本学が取り組む地域貢献、産学民官連携活動による研究成果等の情報をご紹介します。

食品栄養科学部が共同研究により目薬のさし心地を改善する新技術を開発

食品栄養科学部食品化学研究室では、食品のおいしさに重要な味や香りの研究を進めています。

この度、食品化学研究室の寺田祐子助教、伊藤豊実研究補助員、伊藤圭祐准教授は、ロート製薬株式会社との共同研究により、目薬のさし心地を改善する新たな処方技術の開発に成功しました。

目薬に使用されることが多いメントールは、爽やかな清涼感がある一方、人によっては不快な刺激感（しみ感）を感じる場合もあることが課題となっていました。

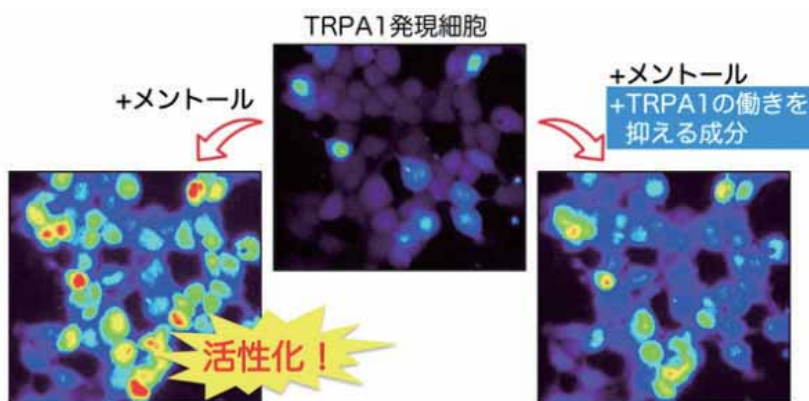
ワサビなどの“辛味”は科学的には“痛み”と同じ感覚ですが、その感知に関わる受容体（TRPA1）は、実は口腔内だけでなく目にも存在しています。本研究ではメントールによる TRPA1 の活性化を抑える成分を探索し、ペパーミントオイルに含有されるメントンや α -ピネンにその働きがあることを見出しました。

これらの成分を基軸として、これまでの配合技術をさらに進化させた結果、不快な刺激感を抑制し、より多くの人にとって気持ちのよい清涼感を実現するための新たな配合技術（スマートクールテック™：ロート製薬）の確立に至りました。

現在、ロート製薬において本技術を用いた目薬の開発が進められています。



実験の様子



図：TRPA1を培養細胞に発現させ、活性化の程度を光によって測定した例。
TRPA1が活性化すると細胞は青→赤に変化する。

～地域をつくる 未来をつくる～

産学連携を活用しませんか

産学とは…企業等の産業界＝産
大学等の学術研究機関＝学

静岡県立大学は、5学部と大学院、短期大学部を有する総合大学で、国内で唯一、薬学と食品栄養科学を融合した薬食生命科学総合学府を有することから、この特色を活かした自然科学系の研究や、看護学・国際関係学・経営情報学などの研究を進めています。産業界・静岡県等の行政と大きくかつ密接な連携を図ることにより、研究成果を世の中に還元し、新産業の創出・活性化に貢献しています。

《産業界から見た産学連携のメリット》

- ・科学的根拠に基づく商品開発
- ・自社の強みの客観的発見
- ・大学が評価することによる製品の信頼性の向上

学部、研究科等の枠を超えた体制のもと、地域・産学連携推進室が相談・研究テーマに適した大学研究者を紹介します。

「新製品を作ったが課題がある」
「大学と共同で新製品を作りたい」など

～まずはお気軽にご相談ください～

静岡県公立大学法人

静岡県立大学《地域・産学連携推進室》

〒422-8526

静岡県静岡市駿河区谷田 52 番 1 号

E-mail renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp

TEL 054-264-5124

図書館 だより

電子ジャーナルをもっと活用しよう

図書館では図書・雑誌のほかに、多くの電子ジャーナルを契約しています。

電子ジャーナルとは冊子体で刊行されている学術雑誌を電子化して、Web上で閲覧できるようにしたものです。主にPDFやHTML等の形式で提供されています。「オンラインジャーナル」「EJ」とも呼ばれています。海外の雑誌は、国内の雑誌

に比べて電子ジャーナルになっているものが多いです。「冊子体より早く入手できる」、「電子コンテンツが掲載されている」、「学内のパソコンから、いつでも閲覧できる」、「同じ雑誌を複数の人が同時に閲覧できる」、「検索ができるから探しやすい」など、様々なメリットがあります。本学公式サイトの図書館ページから「電子資料」にアクセスし、冊

子体の資料だけでなく、電子ジャーナルをぜひ活用してください。

・日経BP記事検索サービス

日経BPが発行する約50誌の雑誌記事の検索・閲覧が可能

・医中誌Web

「医学中央雑誌」のインターネット版データベース



私の一冊の本



著者：古川 光明

出版社：佐伯印刷(株)

請求記号：333.842//F93

ISBN：987-4-905428-96-1

現代の国際社会は、紛争や暴力的過激主義、貧困や格差、感染症や自然災害、難民問題など、複雑で相互に関連する国境を越えた課題が山積し、難民は6500万人を超えています。その多くの課題を含んだ、そして、世界で2番目に多く難民を発生させている「南スーダン」という国名を聞いたことがあるでしょうか。

南スーダンは半世紀に及ぶ内戦をへて、2011年7月9日にスーダンから独立した最も新しい国です。しかし、独立後の約1年半後の2013年12

紹介者 国際関係学部教授 古川光明

紹介図書 『スポーツを通じた平和と結束

南スーダン独立後初の全国スポーツ大会とオリンピック参加の記録』

月には、大統領の座をめぐる権力抗争から紛争が勃発しました。その後、和平合意がなされ、暫定政権が樹立したものの、2016年7月には再び、警護隊との間で銃撃戦が起こり、全国に紛争が拡大してしまいました。

このように、独立してからも紛争が絶えない南スーダンにおいて、独立後初めて、JICAが支援した国民スポーツ大会があります。それは、スポーツを通じ、国民が民族や出身地を超えて一つになるよう願いを込めて2016年1月、全国9都市から男女約350人の選手が参加し、8日間にわたりサッカーと陸上競技で熱戦を繰り広げたものです。大会には和平交渉が揺れ動くなか、また、多くの観客が集まることから治安を懸念する声もありましたが、選手・観客ともにフェアプレー精神を貫き、大会は無事終了しました。この大会を南スーダン政府は、「国民結束の日」と称し、そして、「国民結束の日」は、「平和と結束」の象徴となったのです。

しかし、「国民結束の日」に向けた道のりは簡単ではありませんでした。南スーダン政府は紛争が繰り返されるなか、

経済状況は悪化をたどり、大変な財政難の状況であったのです。文化・青年・スポーツ省には大会開催費用どころか、職員の給料さえもともに支払われていない、そのようななか、様々な関係者を巻き込みながら、問題を一つ一つ解決し、大会の開催にこぎつけたのでした。

大会が大成功し、文化・青年・スポーツ省の次なる目標は、2016年8月にブラジル・リオデジャネイロで開催されるオリンピックへの参加でした。しかし、同年7月、再度、紛争が勃発したのです。それにも関わらず、JICAは、平和の祭典に国として参加することにより、国の結束が図られるとの願いから、オリンピック参加支援を行いました。

本書では、これまでなじみのない南スーダンについて少しでも知ってもらいたい、南スーダン人の平和にかけける思いを実現しようと奔走した日本人たちがいることも知ってほしいとの願いなどから、その支援について克明に描いています。スポーツを通じた「平和と結束」について、東京オリンピックとともに考えてもらいたいと願っています。



教員・学生の受賞

各受賞の詳細については本学公式サイトのニュース&トピックスからご覧いただけます。

	受賞者名	所 属	受 賞 名
教 員	渡辺 賢二 教授	薬学部	第18回しずおかビジネスプランコンテスト 一般部門 最優秀賞
	岩崎 邦彦 教授	経営情報学部	日本印刷学会 論文賞
	岩崎 邦彦 教授	経営情報学部	日本観光研究学会 第13回 学会賞 観光著作賞
	湯瀬 裕昭 教授	経営情報学部	令和2年度「情報通信月間」東海総合通信局長表彰
	小西 敦 教授	経営情報学部	2020年度日本公共政策学会 論説賞
学 生	大石 真菜・鰐川 雅花 山中 理愛	食品栄養科学部	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア (A&S) 2019 最優秀ポスター賞
	村松 孝亮・稲垣 桜子 清 健人	薬食生命科学総合学府	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア (A&S) 2019 優秀ポスター賞
	木俣 美緒・澤野 桃子 齋藤 未菜美	食品栄養科学部	
	柿宇土 勇太・三田 大智 久保 瑠宇菜・山本 萌生	経営情報学部	知財活用スチューデントアワード 優秀賞
	佐伯 棕子	薬食生命科学総合学府	ISN'A2020 (International Symposium on Nanoparticles/Nanomaterials and Applications 2020) 国際学会 Excellent Shotgun Poster Presentation Prize
	小池 吏砂	食品栄養科学部	第23回日本病態栄養学会 若手研究特別賞
	田中 真愛・丸山 いづみ 小野 義虎	経営情報学部	第18回しずおかビジネスプランコンテスト 学生部門 奨励賞
	加藤 花蓮	国際関係学部	第29回(2019年度)小泉八雲顕彰文芸作品コンクール 一般の部 最優秀賞
	出口 幸映	国際関係学部	第29回(2019年度)小泉八雲顕彰文芸作品コンクール 一般の部 優秀賞
	榛葉 有希	薬食生命科学総合学府	第74回日本栄養・食糧学会大会 トピックス演題賞

※2020年1月から6月末までに本学の公式ホームページに掲載依頼のあった受賞を掲載しています。
※役職は受賞時のものです。

教員人事

◆採用

2020年4月1日付

梅 本 英 司	薬学部薬科学科	教 授
金 沢 貴 憲	薬学部薬学科	准教授
宋 復 燃	薬学部薬学科	助 教
内 田 邦 敏	食品栄養科学部環境生命科学科	准教授
亀 山 詞 子	食品栄養科学部栄養生命科学科	助 教
山 下 光	国際関係学部国際関係学科	教 授
橋 本 勝	国際関係学部国際言語文化学科	教 授
木 澤 景	国際関係学部国際言語文化学科	准教授
長 野 明 子	大学院国際関係学研究科	教 授
孫 曉 剛	大学院国際関係学研究科	准教授
野 口 理 子	経営情報学部経営情報学科	助 教
畑 中 純 子	看護学部看護学科	教 授
林 みよ子	看護学部看護学科	教 授
鈴木 千 智	看護学部看護学科	准教授
膽 畑 敦 子	看護学部看護学科	助 教
栗 田 真由美	看護学部看護学科	助 教
鈴木 郁 美	看護学部看護学科	助 教
中 岡 正 昭	看護学部看護学科	助 教

●教員昇任

水 野 初	薬学部薬学科	准教授
奥 園 秀 樹	大学院国際関係学研究科	教 授
米 山 優 子	国際関係学部国際関係学科	准教授
落 合 康 裕	経営情報学部経営情報学科	教 授

●特任教員採用

今 井 康 之	薬学部薬科学科	特任教授
深 江 久 代	看護学部看護学科	特任教授
相 羽 千 州 子	言語コミュニケーション研究センター	特任講師

●教員採用

2020年5月1日付

菅 野 裕 一 郎	薬学部薬学科	講 師
-----------	--------	-----

●特任教員採用

竹 田 裕 子	食品栄養科学部栄養生命科学科	特任助教
---------	----------------	------

●教員昇任

2020年6月1日付

佐 藤 秀 行	薬学部薬学科	准教授
---------	--------	-----

◆退職

●専任教員・定年退職

2020年3月31日付

今 井 康 之	薬学部	教 授
小 林 裕 和	大学院食品栄養環境科学研究院	教 授
林 芳 樹	国際関係学部	教 授
八 木 公 生	国際関係学部	教 授
玉 置 泰 明	大学院国際関係学研究科	教 授
青 木 和 恵	看護学部	教 授
深 江 久 代	看護学部	教 授

●専任教員

世 戸 孝 樹	薬学部	講 師
金 澤 寛 明	看護学部	教 授
高 林 ふみ代	看護学部	准教授
石 川 紀 子	看護学部	准教授
安 田 真 美	看護学部	准教授
糸 川 紅 子	看護学部	講 師
望 月 友 美 子	看護学部	助 教
山 田 貴 代	看護学部	助 教
岩 本 真 弓	看護学部	助 教
加 藤 俊 枝	看護学部	助 教
丹 羽 康 夫	大学院食品栄養環境科学研究院	助 教
内 藤 博 敬	食品栄養科学部	助 教
増 田 勇 人	食品栄養科学部	助 教

●特任教員

豊 岡 利 正	薬学部	特任教授
坪 本 篤 朗	大学院国際関係学研究科	特任教授
後 藤 隆 昭	言語コミュニケーション研究センター	特任講師

はばたき

141号 2020年8月7日発行
発行元／静岡県立大学広報委員会

- 静岡県立大学 教育研究推進部広報企画室
- 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
- TEL/054-264-5130 ■FAX/054-264-5099
- E-mail/koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
- URL <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほか、ご卒業生などに関連する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

次号142号は2021年2月発行の予定です。

「はばたき」読者限定!

県大生応援キャンペーン!!

〈お申込時にこの冊子をご持参下さい〉

**2020年8/1①～9/29④までに
ご入校の方に5,000円分の
クオ・カードを
プレゼント! ¥5,000**

※普通自動車で入校の方が対象です
※限定解除の方は対象外とさせていただきます



**古庄は
特典がいっぱい**

優先予約で短期取得可

再検定料一切不要

技能オーバー無制限保証

夜間料金無料

免許は取ったけどしばらく
乗ってないから運転が不安で...

**卒業生特典
ペーパードライバー講習
1時間無料**

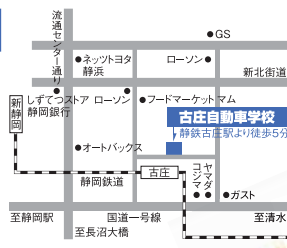
※普通車のみ: 2・3・8月を除く

お申込みは
フリーダイヤル **0120-155-168** | 携帯からでもOK
※チャリンを見たお伝えください。

公認 古庄自動車学校

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号
TEL.054-261-1551
FAX.054-264-0940
URL <http://www.flushyou.co.jp>
Mail main@flushyou.co.jp





「草薙校舎売店に男性用と女性用のパンフレット設置!」

毎年恒例
ラクラク!

卒業式はかまレンタル

静岡県立大学 ご卒業予定者様

式当日: 草薙校舎で着付け・ヘアー・写真・返却!
【バス送迎有】草薙校舎⇄グランシップ
※非常事態時、お支度会場の変更の可能性がございます。

展示会: ● 学内展示会は 9 月頃開催可能か検討致します。

★ **静岡市民文化会館 展示予約会** ※新静岡セノバ徒歩8分
場所: 静岡市民文化会館 2 階第一会議室
2020 年 10 月 1 日(木)14~19時
2020 年 10 月 2 日(金)・11 月 6 日(金)10~19 時
12 月 10 日(木)・11 日(金) 10~19 時

<重要> ①開催するかしないか展示会の7日前に当社 HP で公表致します。
②マスク着用必須。広い会場で行いますがソーシャルディスタンスをお願い致します。
③体温・体調に変化のある方、2 週間以内に非常事態宣言が出されている都道府県に行かれた方は、ご来場をご遠慮下さい。別の日に店舗へお越し下さい。

静岡の卒業袴専門店
京都むらまつ

店舗: 静岡市葵区馬場町 25-2(静岡浅間通り商店街)
営業: 10~17 時(水曜日定休日)※当面、来店予約制。
フリーダイヤル: 0120-144081





■県短生は、HP を検索!
■「京都むらまつ」で検索!